



令和2年夏万灯みたま祭



御祭神数

当神社に御鎮祭申し上げております
御祭神は四万九千七百二十八柱です。

春秋の慰霊大祭

災厄を越えて

宮司 額田照彦

昨年十二月、中国の武漢を発生源とする新型コロナウイルス感染症が流行し始めて以来、世界的規模で拡大し続けており、深刻な問題となっております。

この影響により各種行事の中止・延期・規模縮小等様々な方面で感染防止の対策が講じられており、当神社におきましても、本年の春季慰霊大祭は、御遺族・崇敬者の皆様方の健康と安全を最大限に考慮し、御案内及び御参列は最小限に留め、祭典は神社職員、神社役員、崇敬者総代のみにて厳粛に斎行致しました。

また、コロナ禍の中ではありましたが、毎年八月十三日～十七日の五日間、御祭神をお慰めする行事であります「万灯みたま祭」の斎行に際し、御遺族の皆様を始め、崇敬者の

方々に雪洞の献灯を御依頼申し上げましたところ、今年も災厄コロナ禍の中、例年通りの、一〇〇〇灯を超えるご献灯を戴き、御祭神名、奉納者名を雪洞に記し、境内に掲揚致しました。期間中は夏の「みたま祭」の神事を、午前九時より御本殿にて全職員で厳粛に斎行し、英霊の御霊の安鎮と御遺族・崇敬者の皆様の御健勝に加えて、特に今年は新型コロナウイルス感染症で日常が損なわれている中、コロナウイルス感染症の流行が一日も早く鎮静するようご祈念申し上げます。また午後七時より午後九時までの夜間、雪洞に点灯し、英霊をお慰め申し上げました。夜間点灯時のご参拝者の方々も年々増え、英霊もさぞかしお喜びのことかとご拝察申し上げます。

また、極めて残念ではありますが、この度の秋季慰霊大祭につきましても、現在も尚コロナウイルス感染症拡大防止の様々な対策が各方面で講じられておりますことを鑑み、秋季慰霊大祭のご案内を春季慰霊大祭同様、神社役員・崇敬者総代のみのご参列ご案内とし、多くの方々への御参列の御案内を差し控

えさせていただくこととなりました。
現在国内での感染は一旦収まりつつあるかに思われますが、また一方再び流行の兆しもあり、依然予断を許さない状況が続いております。

この現状に鑑み、今年の秋季慰霊大祭も新型コロナウイルス感染症防止と公衆衛生上の観点から、祭典は神職・神社役員・崇敬者総代の最小限に留め、厳粛に斎行することと致しました。

御遺族・崇敬者・参拝者の皆様方には、種々の感染防止策によりまして、何かとご不便をお掛けしていることは存じますが、時勢終息の後、ご無理なきご判断で改めてのご参拝を頂きます様お待ち申し上げます。

当神社におきましても、恒例祭祀や毎朝の日供祭において、新型コロナウイルス感染症が一日も早く鎮静するようご祈念申し上げます。

皆様方におかれましては、このコロナ禍、何かとご不便且つ、辛抱・忍耐の日々をお過ごしのことと存じますが、日々ご自愛の上、ご健勝にてお過ごし下さいます様、また、このコロナウイルス感染症が一日も早く終息、沈静化へと向かいます様、ご祈念申し上げます。



新型コロナウイルスの 感染が始まる以前の 普段の日常生活の ありがたさ

愛媛県遺族会

会長 関谷勝嗣



今回の新型コロナウイルスほど、全世界を震撼させたことはないでしょう。

人間関係を崩壊し、経済を打ち壊し、永年かけて築き上げてきた社会システムをなぎ倒してしまいました。改めて、今日までの普通に感じて生活してきた日々が、いかに素晴らしい生活であったかを心底から感じました。

一大事業の東京オリンピック・パラリンピックも一年延期になりました。一年の延期が選手に与える心身両面への影響は計り知れないものがあるでしょう。一年の延期自体を不安視する声すらあります。前回の東京オリンピックは、開催を契機に日本があらゆる面で大きく飛躍発展をしました。来年のオリンピックも、そうありたいですが、新型コロナウイルスのワクチン開発如何によるでしょう。

オリンピックは、日本国内の新型コロナウイルス感染状況が終息したにしても、他国も同じ状況に戻らなければ、開催することはできません。

世界が一致団結して、新型コロナウイルスの感染を終息させねばなりません。

三月十四日開催予定であった愛媛県遺族大也会も、初めて中止になりました。特に遺族の方々は、ご高齢になられていらつしやいますから、早々に中止に致しました。理事会や評議員会等々は、書面決裁に致しました。

遺族の方々は、一年に一度お互いに顔を合わすことを楽しみにしていらつしやる。そのことができないのですから、会長としても、寂しい限りです。来年の大会は、何が何でも開催したいと考えております。

英霊顕彰は、何が起きようとも遺族会の手でしっかりと行ってまいります。尊い御霊の犠牲の上に築かれた素晴らしい日本国家をコロナウイルスごときで弱体化などさせません。世界の一人一人がコロナウイルス撲滅のためにできる限りの努力を致しましょう。

安倍首相が退任されました。私は秘書時代を含めると、約四十年間ほど、政界に身を置いていましたが、本当に素晴らしい首相であったと思います。それ故に、首相在任期間が日本一の長期に亘ったのです。病のための退任ですから仕方がないにしても、退任は残念でなりません。今後は総理経験者として、日本国家発展のため、ご指導いただきたくと

思います。

さて、私事となりますが、今回の新型コロナウイルスで世間の生活スタイルが激変致しました。私の関連している会合、会議等々は、全て中止となり、高齢者はなおかつ外出を控えなければならず、ストレスが高じ、一時、体調不良に陥ってしまいました。

愛媛縣護國神社も、コロナ対策で大変だと思いますが、我々国民の心の拠り所として、益々発展されますよう祈願致します。

最後に御霊の安らかなることを念じつつ、ご挨拶と致します。

祈念史料室 みゆきだより (一)

愛媛縣護國神社英霊顕彰会

祈念史料室みゆき

室長 愛原 章

愛媛縣護國神社の御幸殿に「祈念史料室みゆき」が開室されて、三年目になります。

遺族の皆様の多大なご協力を得て出来上がった祈念史料室ですので、ご家族で護國神社の参拝を兼ねて、英霊の遺影、遺品等をゆっくりご覧いただき、お子様やお孫さんにも祖父や曾祖父の戦争体験について話していただき、少しでも戦争の悲惨さを語り継いで欲しいと思います。

まず、祈念史料室からのお願いです、英



平成30年3月30日 開設記念式典

霊の遺影のことです。昭和の戦争で亡くなられた方は、愛媛県では四万五千柱以上になりますが、展示できた遺影は、少しずつ増えてはいますが、残念なことにまだ5%くらいです。皆様に更なるご協力をお願いできれば幸いです。せめて、各地区の戦歿者名簿だけでもお揃いですが、これもご覧頂くほどの名簿は集まっておりません。こちらもご協力をお願いできればと思います。

二つ目は、護國神社へ納めていただいた遺品です。多数納めていただきましたので、何とかすべての遺品を見ていただけるようにと考え、遺品等を写真に撮って、アーカイブ

(重要な記録等の保存活用) 方式を採用して、何時でも見ていただけるよう工夫しました。が、まだまだ十分機能を發揮しているとは申せませんので、少しずつ改善していく所存です。

そして三つ目が、戦記等です。こちらも沢山お納めいただきましたので、より見やすいように改善を進めております。なかには、貸し出しを希望される方も居られますが、大切な品ですので、コピー等で対応するなど、より良いご対応を考えたいと存じます。また、少しでも興味を持っていただければ……と、書籍の参考資料を護國神社に用意していただ



ご祭神からの600通の便り

き、展示しておりますので、こちらもご活用ください。
 最後になりましたが、「みゆき」をご観覧いただく折には、ぜひ、護國神社か遺族会を通じて、私、愛原にご連絡いただき、直接お目にかかせて頂き、ゆつくりとご祭神のお話等もお聞かせいただければと心より願っております。

靖國神社の遊就館に多少なりとも似た効果を期待し、社務所に掲額の「桃李不言下自成蹊」(桃李もの言わざれど下自ら蹊を成す)と額田宮司に書いていただいた、「桃李不言」の精神を大切に、平和の尊さを学び、英霊の

遺徳を慕う参拝の方々の道が開けます様に願っております。

どうか、より多くの方に「祈念史料室みゆき」にご来室いただき、英霊の声なき声を聴き、永久なる平和を祈念していただきたいと思っております。英霊とお待ちしております。

※拝観案内

- ・入館時間 九時～十六時
- ・拝観料 無し(但し、英霊顕彰会へのご入会協力をお願いをしております。巻末参照)

・ご注意

現在、感染対策のため、入館を制限中。拝観ご希望の方は、神社受付へお申し出下さい。

〔奉納者並びに寄贈図書〕

一、「四国遍路の世界」

- 愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター編
- 一、「四国霊場第五十二番札所・太山寺の近代整備への軌跡」
- 古写真・境内図・太山寺文書を素材として
- (愛媛県歴史文化博物館研究紀要第二十五号)にて

西子市宇和町卯之町

愛媛県歴史文化博物館学芸課

専門学芸員 今村 賢司 様

- 一、「国難 武漢ウイルスを乗り越え、危機に負けない新しい日本をつくる」
- 「ときみつる會」叢書第一号

高知県高知市新本町

宗教法人「ときみつる會」

代表役員 宮澤 潔 様

一、「改訂 図説東郷」—創建八十年記念—

東京都渋谷区神宮前

東郷神社宮司 福田 勉 様

一、「即位礼と大嘗祭の歴史と文学」

— 皇學館大学講演叢書 —

三重県伊勢市神田久志本町

学校法人皇學館 皇學館大学 様

一、「前世から届いた遺言」

千葉県船橋市前原東

岩下 光由 記 様

一、「決定版日本書紀入門」

— 竹田恒泰・久野潤 著 —

大阪府泉南郡熊取町

日本国史学会

事務局長 久野 潤 様

令和二年(四月)

春季慰霊大祭奉仕者

(敬称略)

献茶奉仕者(茶道裏千家淡交会松山支部)

幹事長 松山市道後一万 戸田 宗 悦

前幹事長 松山市中西外 松本 宗 正

献花奉仕者(愛媛県華道会)

聴春流 松山市勝山町 大井 緑

聴春流 松山市祝谷 福田 倫 子



梓 (アズサ) について

愛媛万葉苑保存会

常任理事 藤原 茂

愛媛縣護國神社では昨令和元年秋、天皇陛下御即位をお祝いして梓が記念植樹されました。記念樹に梓が選ばれたのは、天皇陛下の「お印」が梓だからです。「お印」とは皇族の方が身の周りの品などに用いる記章・印章のことです、お名前のかわりに文字や植物の名前などが選ばれてきました。江戸時代の後期から始まり明治以降広く用いられるようになりましたが、詳しいことは分からないようです。

因みに明治天皇は「永」、大正天皇は「壽」、昭和天皇は「若竹」、香淳皇后は「桃」、明仁上皇は「栄」、美智子上皇后は「シラカバ」、雅子皇后は「ハマナス」、愛子さまは「ゴヨウツツジ」、秋篠宮さまは「ツガ」です。ところで梓は何の木か、陛下のお印の説明には「樹種の名称」とあるだけです。

では、万葉集の「梓」は何でしょうか。『万葉植物事典』ではミズメ（ヨグソミネバリ）・オノオレカンバ・キササゲ（ノウゼンカズラ科）、『やまと花万葉』ではアズサ（ヨグソミネバリ）、『万葉花』（矢富殿夫著）ではミズメ（カバノキ科）など。また学説とし



ては貝原益軒のキササゲ、小野蘭山のアカメガシワなどまさに諸説さまざまです。しかし最近では本草学者の白井光太郎博士の「ミズメ」一名ヨグソミネバリが定説となっているようです。このミズメとキササゲを共にヨグソミネバリとし、これをアズサとしていることに問題があるようです。

実は『牧野新日本植物図鑑』には、アズサとミズメがそれぞれ独立して明記されています。なお、「キササゲは中国伝来の植物で、中国では梓の字を用いているが、これはノウゼンカズラ科で別もの」と記しております。

また、「アズサをアカメガシワやキササゲであるとしている説は全くの誤りである」とも記しています。別に「ミズメ」については「梓とほとんど同じで区別は非常に難しく山の人は両種を混同していたと思われる」と



しています。八木先生は「カバノキ科のミズメ」を採用されており、「他にも色々な説があつて難しい」と述べておられます。

そもそも万葉集にはアズサを詠んだ歌は三十三首ありますが、その中で「梓の弓」を詠んだものが十九首。その他十四首は「枕詞」として使用しており、アズサという植物その

ものを詠んだ歌はありません。

牧野図鑑によりますと、アズサは各地の山中に自生する落葉高木で花は黄褐色、花穂が紐状に小枝から垂れ、枝を折るとサリチル酸メチルの匂いがします。これが名前の「夜糞峰榛(ヨグソミネバリ)」の由来です。

昔はこの木材で弓が作られ、梓弓と言われました。この材は緻密で堅く粘り気があつて用途が広がつたようです。

面白い話があつて、松山城の天守閣の内庭にノウゼンカズラ科のキササゲの古株があつたそうです。「雷は雷獣の被害を逃れる」とアズサを植えておけば雷獣の被害を逃れる」という訳でした。伊予路では昔からキササゲ説が強かつたようです。八木先生の説です。

アズサ(ヨグソミネバリ)は古来、靈力や呪力のある木とされていたようです。この木で弓を作つたのも材の質が堅く強いというだけでなく、呪力があると信じられていたようです。キササゲは、硬すぎて弓には適さなかつたようです。正倉院に伝わる梓弓もアズサの材が用いられているそうです。

当時の梓弓の献上は信濃や甲斐からなされており、長野県や山梨県から産出していたことが分かります。

なお、梓は版木として用いられており、書物の出版の「上梓」という言葉に残っています。

さて、愛媛万葉苑で採用している歌は、

梓弓引かばまにまに奇まれども
のちの心を知りがてぬかも

石川郎女(巻二一〇九八)

これは、久米禅師が石川郎女に求婚した時の贈答歌五首の内の一首です。歌の意味は「あなたが私の心を本当に引いてくださったから私は貴方の御意になびきましょう。けれども行く末のお心をはかりかねますわ」と。

久米禅師は名前からして僧侶のようですが、僧侶が求婚というのも分かり難い話です。ところでこの「梓弓」はいわゆる「枕詞」です。枕詞とは一定の語を言い出すために、

その上に冠する修辭的な語句のことで、普通五音が多いようです。修飾する語への関わり方は音に関わるものと、意味に関わるものがあります。この歌の「梓弓」は矢をつがえて弓を引きしぼるから「引く」に掛かつておりますが、弓の上端を言う弓末(ゆずえ)から「すえ」に、弓を張るから「春」に、弓を引くとき音を立てることから「音」に掛かるといった使われ方もあります。

ところで、愛媛万葉苑には残念ながらアズサ・ミズメ・キササゲなど何れも欠株中ですが、その内捕植したいと考えております。



正式参拝

☆令和二年五月九日

愛媛シベリアを語る会

会長 松木敏夫様

計七名



☆令和二年五月二十七日

晴朗会

代表 安永教一様

計二名

☆令和二年六月十五日

阿含宗

主任 岡田秀栄様

計五名

☆令和二年八月五日

愛媛県立松山城北高等学校

二十一期生

代表 敷村サガノ様

計八名



☆令和二年八月八日

愛媛県瓦工事業組合

理事長 菊池陽一郎様

計二十名



☆令和二年八月十五日

伊豫豆比古命神社

宮司 長曽我部昭一郎様

計五名



☆令和二年九月八日

愛媛県遺族会理事会

会長 関谷勝嗣様

計二十名



☆令和二年九月十日

松山市遺族会役員会

会長 西村利明様

計二十五名

☆令和二年九月二十一日
和プロジェクトT A I S H I
奉納揮毫
書道家 林 龍峯様
松山北高等学校書道部
部長 中島夢月様
計四十名



愛媛縣護國神社英靈顕彰会 入会と継続のご案内

平成26年11月の設立以来、ご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。
今後も英靈のご遺徳を顕彰し後世に伝えてゆくために、愛媛縣護國
神社英靈顕彰会へのご入会と継続のご協力をお願い申し上げます。
お問い合わせは、下記迄お願い致します。

愛媛縣護國神社 英靈顕彰会事務局 TEL (089) 925-2353

英靈顕彰会会員の特典

各特典	正会員	賛助会員	特別会員	備考
会費(年額)	3,000円以上	10,000円以上	100,000円以上	
会員対象	個人	個人・団体	個人・団体	
神札	御守	紙札	木札(小)	年1回発送
社報	年2回発送	年2回発送	年2回発送	
春秋大祭案内	×	×	○	一般来賓案内
顕彰石彫	×	×	○	

御祈祷(お祓い)の

御案内

当社では各種祈願を随時お受けしております。
時間等は社務所へお問い合わせ下さい。

初宮詣
七五三詣
厄除け
交通安全
家内安全
合格祈願
社運隆昌
新年特別祈
その他